



社会福祉施設における循環型浴槽等 に関わるレジオネラ症予防対策 -東京都福祉保健局-

東京都福祉保健局は区と連携し、特別養護老人ホーム、児童養護施設、知的障害者厚生施設など入所型社会福祉施設 1086 施設を対象に、維持管理状況についてのアンケートを実施しました。アンケート結果では、レジオネラ属菌が増殖しやすい循環型浴槽等を持つ施設は 649 施設ありました(内訳循環型浴槽 463 施設、循環型機械浴槽 260 施設、循環給湯シャワー 339 施設、重複設備施設あり)。649 施設のうち、229 施設で維持管理が不十分と考えられ、レジオネラ属菌の水質検査等を実施していませんでした。保健所では、これら 229 施設を対象に、延べ 330 回の訪問実施により、塩素剤による日常消毒、浴槽使用ごとの洗浄、水質検査の実施等の維持管理について改善指導を行いました。

また、平成 19 年度から新たに、自主管理点検票やレジオネラ属菌の水質検査結果の提出を求めるなど、各施設への指導強化等、自主管理の一層の推進を図るとしています。

浴槽水や冷却塔水についてのレジオネラ属菌検査、当社にて承ります。

お気軽にお問い合わせ下さい。

資料 2007 年 6 月 26 日付 東京都福祉保健局HP
環境分析箇所 貝森繁基

下記の記事をご希望の方は編集室佐藤までご連絡下さい。

1. アスベストモニタリングマニュアルの改訂について
2. VOC 排出インベントリ(目録)に関する報告を公表
環境省
3. 土壌環境施策に関するあり方懇談会(第 1 回)について

『微量 PCB 混入廃重電機器の処理に 関する専門委員会』-第 2 回会合より

環境省は「微量 PCB 混入廃重電機器の処理に関する専門委員会」の第 2 回目の会合を持ち、微量 PCB 混入電気機器処理のためのスキーム案を提示しました。機器のサイズ別に処理方法を分け、移動が困難な大型機器は抜き取った絶縁油の焼却処分、中・小型機器は洗浄または分離処理施設に運んで処理、小型機器に関してはそのまま焼却炉で処理する事などが示されました。この他、使用中の機器に関しては、機器のメンテナンス時の絶縁油交換で実質的な内部の洗浄効果が期待されるとしています。

廃棄物処理法では PCB 廃棄物の焼却温度は 1100℃以上とされていますが、実験室レベルの試験において PCB が 700~800℃で分解することが示されていることを受け、低濃度での焼却が可能か検討を進めています。早ければ今夏にも実施する実証試験などを参考に報告をまとめるとみられています。

PCB 廃棄物か否かの判定については、PCB 濃度 0.5mg/kg を短時間かつ低廉な費用で測定できる方法の確立が求められ、処理中の測定も行える方法が必要との指摘もありました。また、小・中型のものは現場から運び出す必要があるため、これらを安全に収集運搬するガイドラインを設ける必要があるとしています。これら洗浄液の種類、処理基準、収集運搬に関するガイドライン等は処理の方向性を年内をめどに固める予定です。

当社ではトランス・コンデンサ、土壌、環境水中の PCB の分析を多検体短納期で行っております。お気軽にお問い合わせください。

資料 2007 年 5 月 22 日付 化学工業日報
2007 年 6 月 4 日付 循環経済新聞
機器分析箇所 向江菜生



今すぐ、結果が知りたい！と思った事ありませんか？ 業界初新サービス、しかも無料！

「あなたの分析室Webシステム」 過去データから最新の分析結果、分析の進捗状況まであなたのパソコンからいつでも好きなときにご確認いただけます。まずは、お問合せください。